

朝鮮通信使 という 「智恵」



[出典] 韓国国立民俗博物館蔵 조선통신사행렬도(朝鮮通信使行列圖)

近世の日朝関係のシンボリック的存在である朝鮮通信使。

華やかなイメージとは別に、そこでは両国関係安定のための先人たち「智恵」が大きな役割を果たしていました。通信使外交にまつわる「智恵」を4人の専門家が解き明かします。

司会・問題提起

吉田 光男 「朝鮮王朝の政治システムと通信使」

東京大学名誉教授・放送大学名誉教授

発表

田代 和生 「朝鮮通信使と対馬藩の役割」

慶應義塾大学名誉教授

発表

石田 徹 「朝鮮通信使と訳官使—2つの使節と対馬藩」

島根県立大学教授

発表

木村 拓 「朝鮮通信使の称号に込められた意味」

中央大学教授

日時

2025年**5月31日**(土) 14:00~17:00 (予定)

参加費

無料 (要事前申込)

場所

都市センターホテル 5階「オリオン」
(東京都千代田区) ※Zoom ウェビナーでも同時配信

- ・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅
4番・5番出口より徒歩4分、9b番出口より徒歩3分
- ・東京メトロ 有楽町線「麹町」駅 半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- ・東京メトロ 丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅 D出口より徒歩8分
- ・JR中央線「四ツ谷」駅 麹町出口より徒歩14分

お申込み方法

日韓文化交流基金公式サイト内の所定のページ、
または下記の二次元コードより、お申込みください。

お申込み締切:

5月27日(火)

※定員を超えた場合、
早めにお申込みを締切
る場合があります。



お問い合わせ

日韓文化交流基金 講演会担当

TEL: 03-6261-6790

E-mail: lecture@jkcf.or.jp

主催

公益財団法人

日韓文化交流基金

THE JAPAN-KOREA CULTURAL FOUNDATION



登壇者紹介

吉田 光男 (よしだ みつお)

東京大学名誉教授、放送大学名誉教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位修得退学。博士（文学）。

専門：韓国近世史

主要著作に『近世ソウル都市社会研究』（草風館、2009年）、『韓国朝鮮の歴史』（編著、放送大学教育振興会、2015年）など。



田代 和生 (たしろ かずい)

慶應義塾大学名誉教授

中央大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。

2014年日本学士院会員、2019年瑞宝重光章、2024年文化功労者。

専門：近世日朝交流史

主要著作に『近世日朝通交貿易史の研究』（創文社、1981年）、『書き替えられた国書：徳川・朝鮮外交の舞台裏』（中央公論社、1983年）、『新・倭館：鎖国時代の日本人町』（ゆまに書房、2011年）など。



石田 徹 (いしだ とおる)

島根県立大学国際関係学部 教授

早稲田大学大学院 政治学研究科博士後期課程（満期退学）。博士（政治学）。

専門：近世～近代日朝関係史（政治・外交・思想）、日本政治史

主要著作に『近代移行期の日朝関係―国交刷新をめぐる日朝双方の論理―』（溪水社、2013年）、『交隣と隣交』『交隣と東アジア―近世から近代へ―』（岡本隆司編、名古屋大学出版会、2021年所収）など。



木村 拓 (きむら たく)

中央大学文学部 教授

東京大学大学院人文社会系研究科 アジア文化研究専攻東アジア歴史社会専門分野博士課程修了。博士（文学）。

専門：朝鮮王朝の外交史・政治思想史

主要著作に『朝鮮王朝の侯国的立場と外交』（汲古書院、2021年）、『壬辰戦争と東アジア―秀吉の対外侵攻の衝撃―』（共編著、東京大学出版会、2023年）など。

